



神奈川県立東部総合職業技術校 (かなテクカレッジ 東部)

設置・運営 ● 神奈川県

所在地 ● 神奈川県横浜市鶴見区寛政町28-2

訓練課程 ●

○ 工業技術分野

・ 普通課程 (コンピュータ組込み開発・自動車整備・精密加工エンジニア・3次元CAD&モデリング・電気)

・ 短期課程 (チャレンジプロダクト・セレクトプロダクト・機械CAD・溶接・板金)

○ 建築技術分野

・ 普通課程 (建築設計・造園)

・ 短期課程 (庭園管理サービス・室内施工・ビル設備管理)

○ 社会サービス分野

・ 短期課程 (ケアワーカー・給食調理)

訓練期間 ●

○ 普通課程 1年 (コンピュータ組込み開発・自動車整備は2年)

○ 短期課程 6カ月 (チャレンジプロダクト・セレクトプロダクトは1年)

わが国でも有数の施設で 将来を担う人材を育成



神奈川県は、大規模総合型の東部総合職業技術校(以下、東部校)と西部総合職業技術校および産業技術短期大学校(本誌2011年冬季号掲載)、神奈川県障害者職業能力開発校(2012年春季号掲載)の4校体制である。

東部校は、前身である五つの県立訓練校(鶴見・紅葉ヶ丘・川崎・川崎京浜分校・横須賀)を統合して、敷地面積3万83㎡の県立寛政高校跡地に、平成20年4月に開校した。JR鶴見線安善駅から徒歩1分の場所にある。

東部校の理念

東部校の理念について、田巻愛建築技術課長は「本校では、『手に、職。』が未来を変える。』をキャッチフレーズに、訓練を実施しています」と語る。同校では広大な敷地に必要な設備を

備えており、工業技術、建築技術、社会サービスの各分野の訓練を、全部で16コース実施している。

また在職者訓練にも力を入れており「企業、団体から希望の多い講座について、日程を設定するメニュー型スキルアップセミナーと、希望に応じて企画するオーダー型スキルアップセミナーを用意しています」(田巻課長)。

特に「ものづくり継承塾」コースは、技能検定1・2級程度の課題実習が充実している。

教育訓練の特徴と 東部校を支える組織

東部校ではユニークな職業訓練を行っている。「チャレンジプロダクトコース」と「セレクトプロダクトコース」である。

チャレンジプロダクトはその名の通り、さまざまな「ものづくり」にチャレンジした後、キャリアコンサルタントや専門分野の指導員と相談しながら、「機械加工」「溶接・板金」「機械CAD」「電気」の4コースから自分に適したものを選択し、その技能を修得していく。

「このコースは、修了前3カ月間の企業実習訓練期間に、実践的な仕事力を身につけてもらいます」(田巻課長)

セレクトプロダクトは、他のコースが一つの専門分野の訓練を行うのに対して、「機械加工」「金属加工」「機械CAD」「電気」の中から1年間に二つの分野を選択して訓練を受けることができる。

「現在、中小企業において、複数の

技能を持つ人材は多能工へのニーズが非常に高まっています。それに応え、受講生の就職の選択肢を拡げるべく、このコースを設置し、技能を習得し就職していただいています」

さらに、同校には「神奈川県職業能力開発推進協議会」という強力なバックアップ組織がある。事業所間の相互連携を図るとともに、企業内訓練及び公共職業訓練の推進を図り、職業能力開発の充実に努めることを目的としている。

「本校の前身である訓練校時代からのOBが、県全域の第一線で活躍しています。そのOBの活躍ぶりを見た企業や団体が入会してくださり、本校と連携して研修会・見学会の実施、会員交流会の実施、そして就職説明会の開催による会員企業の求人活動に対する情報提供も行っていたಿದೆいます」

技術校の使命

技術校の使命について平野康一校長は、「本校をはじめ公共職業能力開発施設は、まだまだ知名度・認知度が高くありません。私は、本校の開校準備の段階から携わりましたが、今後とも教育訓練を充実させ、世の中に優れた技能者を送り出すという使命はまったく変わりません。」

オープンキャンパスや体験入校を積極的に行っていますので、優れた技能者を目指している方は、ぜひご来校いただき、私たちの施設、設備と教育・訓練風景をご覧になってください。必ずご期待に沿えると思います」と語った。